

『鎌倉三田会 創立 90 周年に当たり』

鎌倉三田会
会長 石渡 徳一

本題を書き始めようとしたところに、久保田雅彦名誉会長の訃報が入ってきました。今、頭の中は真っ白です。まだまだ、これから更に、ご指導、ご叱声を頂こうとしていた矢先でございます。空高く上がっていた凧の糸を携えて頂いていた、その手で糸をぱっとお放しになられ、凧が宙に舞っている心境です。

故久保田雅彦名誉会長は、会長職として四半世紀以上の長きにわたり、鎌倉三田会を引っ張ってこられました。そして、地域三田会の中にあつては、全国屈指といえるまでに会を充実、発展させてこられました。ここに、鎌倉三田会名誉会長 故久保田雅彦様の長年のご功績と、ご労苦に敬意を表し感謝申し上げます。会を代表して、謹んで衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。

さて、『鎌倉海濱ホテルで、大正 15 年(1926 年)4 月 11 日(日)、鎌倉三田会の総会が盛大に開催されました。』(『三田評論』大正15年5月号抜粋)という記述がございました。(詳細は「鎌倉三田会会報 15 号、16 号」を参照ください)

三田評論(大正 15 年 5 月号)における上記の記載をもって、今年を創立 90 周年目とさせて頂きました。大正12年に起きた関東大震災の被害は、当鎌倉でも甚大でありました。その3年後の大正15年は、まだまだ鎌倉も復興の途中にあつたと推測されます。そのような状況下で、塾の更なる発展と、鎌倉の復興を期して、鎌倉三田会総会が開催されました。鎌倉三田会の創立は、「大変な荒波の中からの船出」、であつたということでもあります。

そして、この90年の歴史は震災からの復興、昭和の大不況時代、先の大戦と、大変な苦難の時代がありました。その中でこの鎌倉三田会を支え、発展されてこられたご先輩方のご苦勞に深い敬意を表し、感謝を申し上げます。

鎌倉の人口は現在約17万5000人です、そして3000名の塾員がおります。鎌倉市民60人に一人は塾員(全国の塾員は36万人で全国平均は360人に一人)という、全国でも希有な地域といえます。その中で、鎌倉三田会会員は現在700人を有しております。正に、全国に310御座います地域三田会のなかでも歴史、会員数とも屈指の地域三田会にまで発展してまいりました。この90周年を迎えられたのは、申すまでもなく、塾の隆盛であり、鎌倉の街の発展でもあります。そして私は、福澤先生が唱えておられる「社中の絆」、これこそ最大の源であると思います。この90年の日本の歴史と同じように、人の一生も平たんではありません。その一生の中で「社中の絆」を深め、塾員としていただけるこの喜びを分かち合えたのが鎌倉三田会であります。

さて、これからの100年に向けてさらにその絆を太く、強くしてゆきたいと思います。6月に開催予定しております、創立 90 周年の今年の総会を、「鎌倉三田会 創立記念総会」として、塾長のご講演をお願いする予定でございます。これを契機に、鎌倉三田会の凧を、更に多くの会員の皆さんの力で、笑顔と笑い声が満ち溢れるなか、糸を手繰り、引っ張って頂き、もっともっと天高く上がるようにしてまいりたいと思います。

今後とも、会員皆様の変わらぬ「社中の絆」のお力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、塾当局、近隣鎌倉三田会、市内六大学同窓会並びに関係諸兄にこの紙面をお借りして、本年創立90周年を迎えられましたことに、これまでのご高配ご指導に対し感謝、御礼申し上げます。